

5月13日：VN指数は低い流動性の中、下落 (VN-Index -0.36%)

- VN指数は、大型株にけん引され、先週末の終値を上回って始まった。
- しかし、投資家たちの警戒感からキャッシュフローは低水準で推移し、指数は上昇を維持できなかった。
- 売り方優勢が続き、指数は徐々に下落した。
- 午場に入っても市場は回復しなかった。終盤には底値拾いの買いが急増したが、買い方の勢いは再び売り方を下回った。
- 203銘柄が上昇、233銘柄が下落、72銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は6.1%増加し、17.2兆ドンとなった。

VN30指数は相場全体を下回る (VN-30 -0.39%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、7銘柄が上昇し、19銘柄が下落、4銘柄が変わらずとなった。
- GVR(+1.11%)、VJC(+1.63%)、VPB(+1.62%)の3銘柄のみ、1%超上昇した。
- 一方、主な下落銘柄はBCM(-1.40%)、CTG(-1.67%)、HDB(-1.90%)、SAB(-1.22%)、STB(-1.27%)、VRE(-1.11%)となった。

セクター・個別株の動き

- APH(+6.95%)は、韓国のSKCコーポレーションと提携し、生分解性素材PBATを生産する工場を建設すると発表し、ストップ高となった。工場の予定生産能力は年間7万トンで、世界最大となる見通し。
- PAN(+4.02%)は、米の輸出価格が供給不足で高騰したため急騰した。
- 外国人投資家は、本日8,530億ドンの売り越しで、4営業日連続の売り越しとなった。VHM(-0.62%)とCTG(-1.67%)が最も売り越された銘柄だった。一方、MWG(-1.02%)はもっとも買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。